



在佛敎島之皮下

別致官之通機要

竹葉少補之起

例之通音進

也

青島字號

三層方之古中殿
岩層古古中殿



あやふしと為り、尚佛國の如くありの申す事
成收の上思ふに、此等諸事ありて
有る件、上よりおはし、おはし、おはし、おはし
明治十二年六月十三日

特命三様へ使

敦島尚信

太田大正三修室兼殿

右方五岩岩具殿

北濱下寺島宗別殿

条約重修ニ自我政府より請求、大意書

第一条

日本ニ輸入スル外国貨物海關稅增加ノ
割合ニ其事情ヲ量リ之ヲ決定スルニ
日本政府ニ於テ輸入稅充分ニ増加シ輸
出稅ノ一部又ハ全部ヲ廢スルモ無妨ト見
込レ其ノ該稅ノ一部又ハ全部ヲ廢スルニ
新定海關稅中長價稅ハ貨物ノ産出地
又ハ製造地ニ於ケル價格ノ上ニ運送
費保險科手續科等ノ如キ輸入ノ為ニ必
要ナル費用加ヘ其金額ニ基キテ算定スル
ニ

ト
條
目

日本政府若し何時ヲ論セス國産税ヲ内國
貨物ニ新課シ又ハ現ニ課シ奉リシ國
産税ヲ增加セントスルハ其割合應
シ直ニ日糧ノ外國貨物輸入税額ヲ增加
スルノ權ヲ有スヘシ

第ニ条

今後警茶民以ニ扱シ外國人ニ施行スヘ
キ諸規則ハ獨リ日本以テ之ヲ設テ
布令スヘシ

第ニ三条

外國臣民ノ日本裁判權ニ服長スルヲ欲
シ其政有ニテ之ヲ准許スル者アルニ於テ
ハ其臣民ニ限り全ク内地ヲ開クヘシ

第ニ四条

結約一國ヨリ報復ナクシテ他ノ一國ノ臣
民ニ與ハ若クハ与フヘキ特權特典等其
他ノ結約國ノ臣民ニモ亦報復ナク之ヲ
与フヘシト雖モ若シ報復ヲ約シ与ハタル
者ナレハ他ノ結約國トモ亦恣儀之上同様
ノ報復ヲ約シ之ヲ禁フヘシ

第ニ五条

日本ヨリ結約國ニ輸入スル貨物ハ於同國
約定税則或ハ其他貿易条約等ニ依リ最
優待ヲ受テタム外國ノ貨物ト同キ輸入税
ヲ課スヘシ

第ニ六条

直接間接ヲ問ハス商事ヲ管ム領事ハ於
日小裁判ヲ執行スルノ権ヲ有セス

第七條

日本沿海魚捕ノ権及沿海貿易ノ権獨
リ日本臣民ノニニ屬スル者トス但外國ヨ
リ船載ノ貨物ノ一部ヲ一ノ開港場ニ於テ
卸下シ殘品ヲ他ノ開港場ニテ卸下スル
ヲ得ヘシ

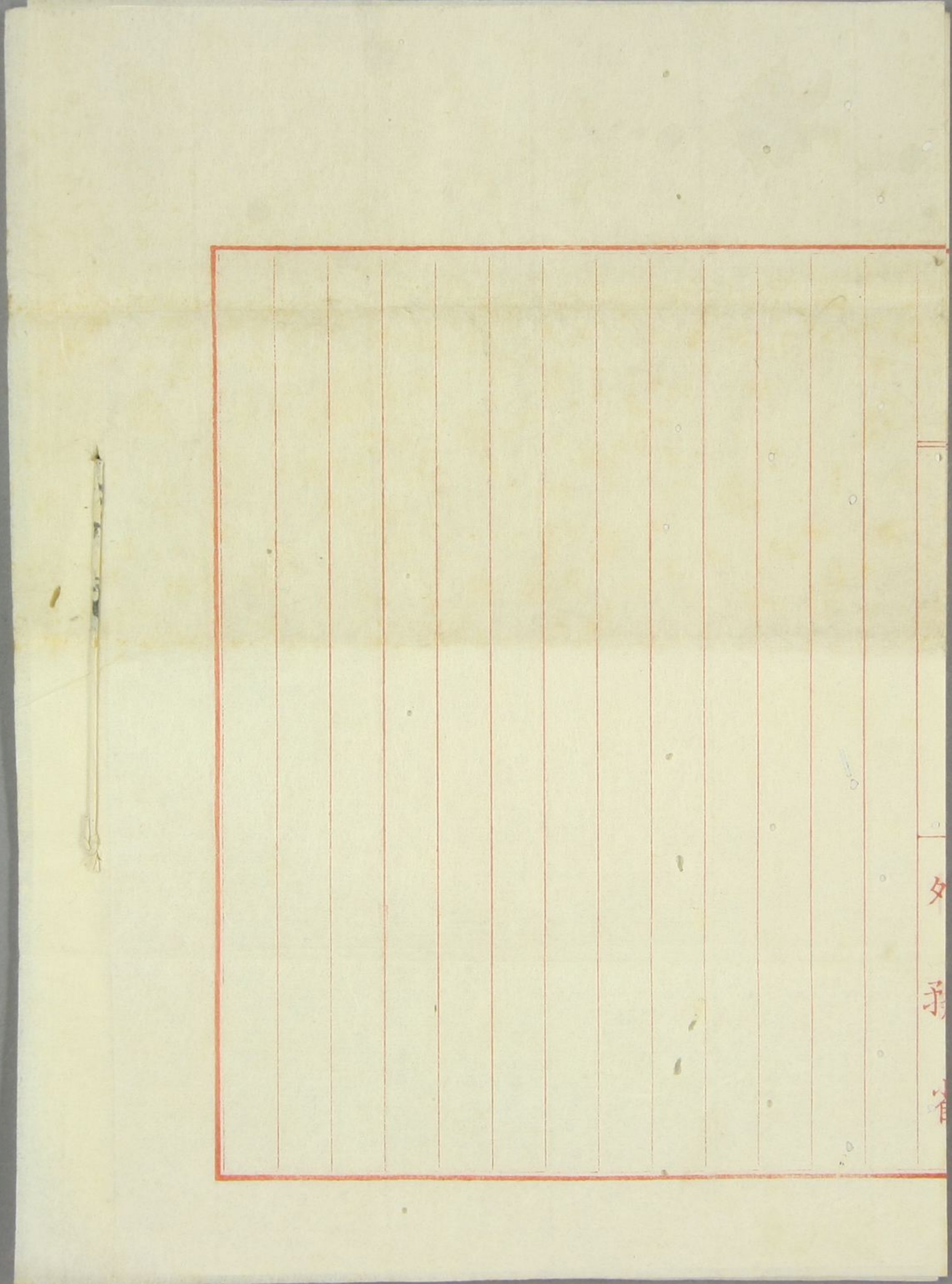
第八條

新條約ハ十年間ノ期ヲ限リ締結ス可シ
満期ノ時ニ至リ無効ノ者トスルヲ以テ
双方全ク自由ナリ尤七年ノ後ニ至リ双
方共新條約ノ條件ヲ發議スルヲ得ヘシ

是レ満期前時宜ニ依リ新條約ヲ商議
決定スルノ便ヲ得レカ為メナリ

第九條

現今ノ條約ハ之ヲ廢棄スヘシ但右條約
中上文ノ所記ニ抵觸セサル條款ハ新條
約ニ記入スヘシ尤字句不得止分ニ變更ス
ルヲアルヘシ



夕
孫
省